

第 6 回技術士制度・試験講習会実施報告

今年も技術士資格取得を目指す受験生を対象として「第 6 回技術士制度・試験講習会」を開催した。従来、首都圏の原子力系大学での開催を続けてきたが、一巡したこともあり、今回は初めて教育機関でない原子力関係機関での施設を借用しての開催となった。交通の便もよく、視聴覚設備も完備されており、非常に良い環境で実施でき、受講者も 45 名と従来の約 2 倍の方の参加があり、閉会後の相談コーナーまで熱心に受講して頂いた。開催にあたり協力頂いた講師は計 16 名で、全て技術士ボランティアであり、的を絞った熱心な説明、指導がなされた。当日の概要を以下の通り報告する。

日時：平成 28 年 2 月 6 日（土） 13：30～17：30

場所：一般社団法人 原子力安全推進協会 第1、2、3 会議室（三田ベルジュビル13階）

主催：日本原子力学会

共催：日本保健物理学会

参加受講者：45 名

○講習内容（総合司会：技術士会 原子力・放射線部会副会長 井口幸弘氏）

（1）講習会開催にあたっての挨拶

講習会の開催にあたり、「技術士資格取得の勧め、原子力学会における技術士制度への期待」として日本原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会 浜崎学委員長から「技術士資格取得の勧め」、日本保健物理学会 専門資格委員会 中田よしみ委員から「保健物理学会における技術士制度への期待」としてそれぞれ技術士試験に挑戦し技術士になることに期待する旨のご挨拶を頂いた。



写真 1 講習会開催挨拶(浜崎委員長)

（2）技術士制度・試験の紹介（講師：上田真三氏）

上田氏から技術士制度と技術士試験について、試験制度のポイントとすでに定着してきた平成 25 年度の改正内容を紹介された。



写真 2 講習会状況

（3）技術士試験への心構え・体験談

①試験受験申込書、業務経歴書[証明書]、口頭試験の心構え・体験談（講師：関口高志氏）

関口氏からは、受験資格から口頭試験について説明いただき、最後の口頭試験に対する必要な準備まで経験等を紹介された。

②択一試験への心構え・体験談（講師：松井哲也氏）

松井氏からは、1 次試験、2 次試験の概要と対策ポイントについて、事例に基づき心構えを紹介された。

③記述試験への心構え・体験談（講師：溝口真樹氏）

溝口氏からは、ご自身が受験された経験から自身の具体的な勉強方法（情報収集、文章の記載方法）や試験前と当日の心構えについて紹介された。

（4）試験の傾向と対策（講師：大平智章氏、宇都成昭氏）

大平氏からは、過去問題から出題傾向とその対策方法についてご自身の具体的な対策方法を紹介された。宇都氏からは、筆記試験の傾向についてご自身の専門分野を例題として対策方法と心構えを紹介された。

(5) 全体質問（各講師）

受講生から、各講師の講義を聞いての質疑応答があり、質疑では、技術士を合格するために有料セミナーを受講する必要があるか、資格取得のメリット、良いテキスト、業務の詳細の書き方等の質問があった。

主な質疑応答を以下に示す

Q：外部で高額な有料セミナーがあるが、合格するためには受講する必要があるのか。受講しなければ、独学ということになるのか。

A：原子力・放射線分野については、外部のセミナーはほとんどなく、本セミナーを活用し、後は独学ということになる。なお、原子力学会のHPに過去問の解説、受験体験など有用な情報があるので、活用して欲しい。

Q：何度か不合格でも最後には合格されている方もおられるが、不合格だった時の理由などについて教えて欲しい。

A：業務上の都合でモチベーションや勉強時間を維持できなかった（合格時：勉強場所や追込み時の時間確保、家族の協力）。知識しか書いていなかった（合格時：技術士としてふさわしい回答）。想定外の問題で対応できなかった（合格時：日頃から関連ニュースなど掘り下げて問題を想定、知識は実務経験を整理して自分の考え方につなげた）。



写真3 各講師に対する全体質問

(6) 閉会挨拶（乗物丈巳氏）

技術士を代表して閉会の挨拶および閉会後の相談コーナーの説明を行った。

(7) 個別質問、相談コーナー

各講義者に加え、神谷栄世氏、大門清氏、勝田昌治氏、天田佳孝氏、川上尚志氏、小宮雅男氏、乗物丈巳氏が担当した。また質問者が多いため、当日準備等をお手伝いいただいた技術士の方々も加わり、概要質問および一次試験・若年層向け、設計・建設、運転・保守、核燃料サイクル、放射線利用、放射線防護の各ブースに分かれ、個別の質疑応答を行った。全体質問の場では聞きづらい個人的な相談ができるため、大勢の受講者が利用し終了時間を延長して熱心な質疑応答が続いた。各ブースで出された主な質問は以下の通りである。



写真4 相談コーナー

① 選択科目の未定及び一次試験・若年層向けブース

選択科目の選定方法、経歴書の記載方法、修得技術者としての受験方法、最短の受験資格

② 原子炉システムの設計及び建設ブース

筆記試験の記載方法(表現、記載文量)、福島第一事故以降の問題傾向、技術士としての回答

③ 原子炉システムの運転及び保守ブース

選択科目の選定、勉強スケジュール、経験年数の考え方、出題傾向、技術士取得の動機

④ 核燃料サイクルブース

経験年数の考え方、専門分野以外の勉強方法、口頭試験対策、技術士取得後の活動

⑤ 放射線利用ブース

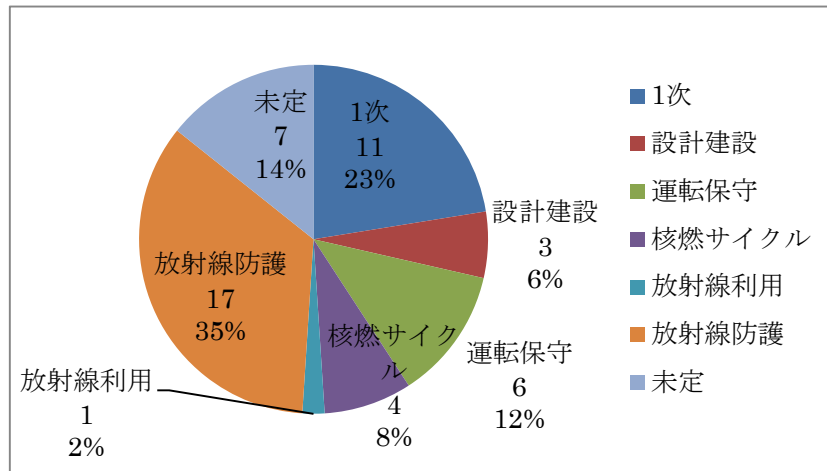
選択科目の選定方法、二次試験に役立つ参考書、ソース、職場に技術士不在の場合の指導者

⑥ 放射線防護ブース

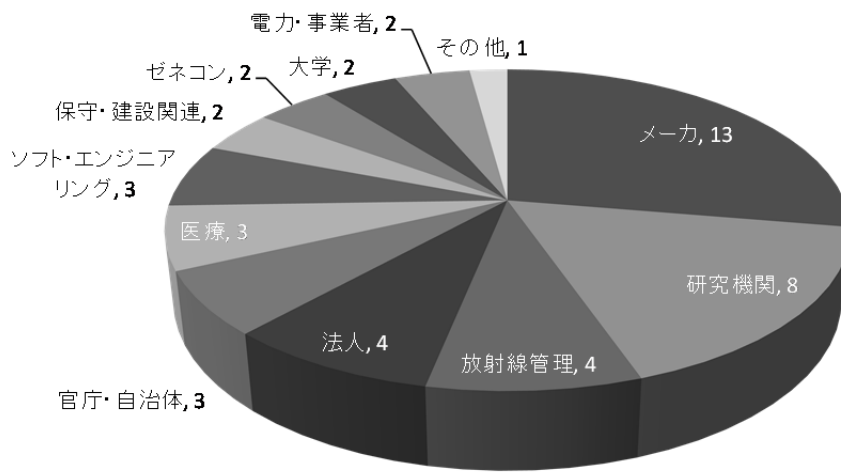
経歴書の記載方法及びその経歴書の試験の位置づけ、選択問題対策、筆記試験の記載方法、口頭試験対応、参考書

以上

(参考)



応募者の受験予定 (重複あり)



応募者の所属分類